日　本　史　B

（解答番号 1 ～ 32 ）

第１問　次の文章**A**・**B**は，祭礼と行事をテーマに夏休みの課題研究を共同で行っていた高校生のアスミさんとエイジさんが，調べる内容について相談していたときの会話である。この文章を読み，後の問い（**問１～６**）に答えよ。（資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところがある。）（配点　18）

A

アスミ：もうすぐお盆だね。

エイジ：そうだね。私の住んでいる地区でも盆踊りがあるよ。楽しみだな。

アスミ：私の住んでいる地区では，いつも東京音頭（おんど）で盛り上がっているなあ。でも，東京音頭って言いながら，今では全国各地で踊られているよね。なんでだろう。

エイジ：実は，私も気になって調べたことがあるんだ。東京音頭って，1932年にたまたま朝風呂で顔を合わせた人たちが，東京に活気を取り戻すために企画して作った丸の内音頭がもとになっているんだって。面白いよね。

アスミ：知らなかった。確かに，1920年代半ばから30年代半ばには［ ア ］ため，各地に伝わったのもうなずけるね。

エイジ：ⓐ当時の日本は，政治・外交や社会経済の面で様々な課題を抱えていたけど，そういう時でも盆踊りは全国で催されていたんだね。

アスミ：民衆の娯楽は今より少なかっただろうから，体から抜け出した虫が天帝に罪を告げるのを恐れて，共同飲食しながら夜を明かす［ イ ］のような行事も好まれたかもね。きっとⓑ全国各地に独特のお祭りや行事があったんだろうね。

問 1　空欄［ア］［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［1］

① ア　政治主張中心の新聞のほか，『太陽』などの雑誌が創刊された
　 イ　庚申講
② ア　政治主張中心の新聞のほか，『太陽』などの雑誌が創刊された
　 イ　富　突
③ ア　レコードの普及に加え，ラジオ放送網が拡大した
　 イ　庚申講
④ ア　レコードの普及に加え，ラジオ放送網が拡大した
　 イ　富　突

問 2　下線部ⓐに関連して，次の史料Ⅰ～Ⅲが制定・締結・表明された時期を古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［2］

Ⅰ　国体ヲ変革シ，又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ，又ハ情ヲ知リテ之(これ)ニ加入シタル者ハ，十年以下ノ懲役又ハ禁錮(きんこ)ニ処ス。

Ⅱ　日本国及満州国ハ(中略)両国共同シテ国家ノ防衛ニ当(あた)ルベキコトヲ約ス。之ガ為(ため)所要ノ日本国軍ハ満州国ニ駐屯(ばんぼうむひ)スルモノトス。

Ⅲ　若(も)シ夫(そ)レ統治権ガ天皇ニ存セズシテ，天皇ハ之ヲ行使スル為ノ機関ナリト為(な)スガ如(ごと)キハ，是(こ)レ全ク万邦無比ナル我ガ国体ノ本義ヲ愆(あやま)ルモノナリ。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ　② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ　③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ　⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ　⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史B

問 3　下線部ⓑに関して，江戸時代の民衆の行事を描いた次の**図 1** と，江戸時代の各地の祭礼・行事に対する幕府と加賀藩の法令について記した後の**史料 1 ・ 2** から読み取れる内容として**誤っているもの**を，後の①～④のうちから一つ選べ。 3

図 1



（『東都名所　高輪廿六夜待遊興之図』）

史料 1　1649 年の幕府の法令

盆にはいつも賑(にぎわ)ひ踊り候まま踊り申すべく候。但し，喧嘩(けんか)・口論これ無き様申し付くべく候。

（『江戸町触集成』）

史料 2　1667 年の加賀藩の法令

当年も在郷所(注)において，踊り・辻相撲堅く御停止(ちょうじ)に候条，急度(きっと)申し付けらるべく候。

（『加賀藩史料』）

（注）　在郷所：村のこと。

① **図 1** の江戸時代の行事では，仮装した人が一緒に遊興を楽しんでいたことが分かる。

② **図 1** の江戸時代の行事では，食べ物を売る出店（でみせ）があったことが分かる。

③ **史料 1 ・ 2** によれば，加賀藩は幕府の法令通りに民衆の祭礼を認めていたことが分かる。

④ **史料 1** によれば，幕府は，踊りによる喧嘩・口論を懸念していたことが分かる。

B

アスミ：盆踊りの起源を調べるために，**図 2 ・ 3** の資料を探してきたよ。

図 2



（『洛中洛外図屏風』）

図 3



（『一遍聖絵』）

エイジ：**図 2** は，盆踊りみたいに，輪になって踊っている様子が見えるね。

アスミ：これは風流踊りだよ。風流踊りも盆踊りの起源と関係がありそうだね。

エイジ：**図 3** のような©踊念仏が変化し，それと風流踊りが結びついて盆踊りとなっていったのかな。盆踊りの起源は鎌倉時代にさかのぼりそうだね。

アスミ：踊念仏から発生していたとすれば，お祭りって信仰とも結びついているのかな。昔の人々は，天変地異など様々な現象が発生する背景に神意を感じていたみたいだし。

エイジ：確かに，ⓓお祭りと信仰との関わりって深そうだよね。

アスミ：そういえば，もともとお祭りって神事(神を祭る儀式)から始まったって，何かの本で読んだことがあるよ。お祭りの歴史を整理してみようよ。

問 4 下線部ⓒに関連して，アスミさんとエイジさんは中世の風流踊りや踊念仏の様子を記した**図 2 ・ 3** のほかに次の**史料 3 ・ 4** を見つけてきた。**図 2 ・ 3** と**史料 3 ・ 4** に関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

史料 3

風流念仏また堂の庭に来たる。念仏以後，種々風流を尽くす。田舎の土民の所行(注 1)，比興(ひきょう)(注 2)たるべけんやの由，其(そ)の覚えを成すの処，各(おのおの)能作(注 3)，風情と云い言詞(いげんし)(注 4)と云い都の能者に恥じず。

(『政基公旅引付』)

(注 1) 土民の所行：ここでは村人(百姓)の風流踊りのことを指す。
(注 2) 比興：とるに足りないこと。
(注 3) 能作：能の演じ方。
(注 4) 言詞：ことば。

史料 4

今度の風流希有(けう)の題目(注 5)なり。奈良中，時々刻々懸銭(かけせん)・用銭(注 6)等，法量なし(注 7)。地下人(じげにん)(注 8)等迷惑せしむる時分なり。

(『大乗院寺社雑事記』)

(注 5) 題目：ここでは特に取り上げるべき事柄を指す。
(注 6) 懸銭・用銭：あることを行うために割り当てて負担させたり，使用したりする銭。
(注 7) 法量なし：程度が甚だしいこと。
(注 8) 地下人：管轄下の百姓。懸銭・用銭を割り当てる対象となる。

a　**図 2** と**図 3** を比べると，参加している人々が音を出すものを持っていることで共通しているが，踊っている人の姿は大きく異なっている。

b　**図 3** において踊念仏を広めた僧は，坐禅を組めば信仰の有無や貴賤の別に関わらずに救われると説き，人々の信仰を集めた。

c　**史料 3** を書いた人物は，村人たちの風流踊りを都の芸能と比較して，田舎の百姓の演じ方をつまらないものと評価している。

d　**史料 4** からは，風流踊りを実施するために多額の費用の納入が求められ，百姓の不満が高まっていたことが分かる。

① **a・c**　② **a・d**　③ **b・c**　④ **b・d**

問 5　下線部ⓓに関連して，原始・古代の人々の信仰や祭祀（さいし）に関して述べた次の文 **X**・**Y** について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 5

X　縄文時代の抜歯は，死者の霊が人々に災いをもたらすことを恐れて死後に行われた。

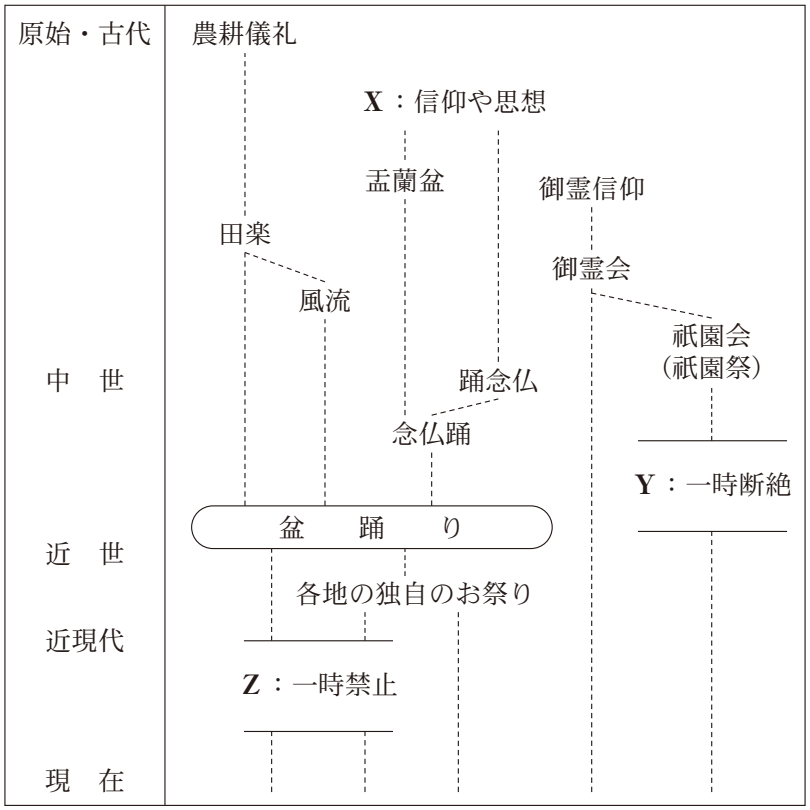
Y　古墳時代の祈年の祭は，秋にその年の収穫した穀物を神に捧げて感謝するために行われた。

① **X**　正　**Y**　正　　② **X**　正　**Y**　誤

③ **X**　誤　**Y**　正　　④ **X**　誤　**Y**　誤

問 6　アスミさんとエイジさんは，夏休みの課題研究をまとめるため，祭礼と行事の歴史と流れについて調べたことを整理し，次の**メモ**にまとめた。**メモ**の中の語句 **X** ～ **Z** と，それに関連する後の文 **a** ～ **f** との組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 6

メモ



a　山や樹木，巨大な岩などを精霊の宿る所と考え，祭祀の対象とする信仰。

b　百済の聖明王から仏像・経典が贈られたことで公式に伝えられた思想。

c　有力守護によって将軍が討たれた混乱のなかで，土一揆が発生した。

d　都で大きな戦乱が起こり，その大部分が荒廃した。

e　明治維新の風潮のなかで，西洋と異なる伝統的な風俗が排斥された。

f　明治新政府は当初，儒教道徳を説くとともにキリスト教を禁止した。

① **X — a　Y — c　Z — e**　　② **X — a　Y — c　Z — f**

③ **X — a　Y — d　Z — e**　　④ **X — a　Y — d　Z — f**

⑤ **X — b　Y — c　Z — e**　　⑥ **X — b　Y — c　Z — f**

⑦ **X — b　Y — d　Z — e**　　⑧ **X — b　Y — d　Z — f**

第 2 問　アミさんとリセさんは授業の課題として，日本古代の墓と葬儀について調べている。二人が作成しているレポート**A**・**B**を読み，後の問い(**問 1** ～ **5**)に答えよ。(史料は，一部省略したり，書き改めたりしたところがある。)(配点　16)

A　アミさんが作成しているレポート

古墳は，3 世紀中頃から営まれた墓制(ぼせい)である。5 世紀にかけて，特徴的な形式の古墳が出現し，全国的に広まり，かつ大型化していった。しかし，6 世紀になるとⓐ古墳のあり方が変化し，7 世紀初めには先述した特徴的な形式の古墳は造られなくなっていった。孝徳天皇の時代には，墓の大きさを規制し，葬送儀礼の簡素化を目指す詔(薄葬令(はくそうれい))が出された。このようなⓑ墓・葬儀の変化は統一国家の形成への動きに対応するものである。

薄葬の思想の普及と共に注目されるのは，火葬の採用である。文献記録上，日本で最初に火葬されたのは 700 年の僧道昭である。この 3 年後には，天皇であった人物を火葬した最初の例が記録される。

問 1　下線部ⓐに関して，6 世紀の古墳の変化について述べた次の文 **a** ～ **d** のうち，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 7

a　副葬品の主体が，銅鏡などの呪術的性格をもつ物品に変わった。

b　追葬可能な横穴式石室が多くみられるようになった。

c　甕の形をした大型土器の中に遺体を埋葬する形式の墓が出現した。

d　一定範囲に小規模の円墳などが集中する古墳群が各地で造られた。

① **a**・**c**　　② **a**・**d**　　③ **b**・**c**　　④ **b**・**d**

日本史B

問 2 下線部ⓑに関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

Ⅰ 生前に石人・石馬をともなった墳墓を造営したという伝承のある九州の豪族が，新羅と結んでヤマト政権の軍と戦い，敗死した。

Ⅱ 推古天皇の時代の大臣（おおおみ）の墓を造営する際，一族の境部摩理勢（さかいべのまりせ）は新しい氏族の長に反発して造営を放棄し，氏族の長によって討たれた。

Ⅲ 八色の姓を定めた天皇が没した際，皇族，様々な官人，隼人らが死者をしのぶ言葉を奉る儀礼を行った。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ　② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ　③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ　⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ　⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

B リセさんが作成しているレポート

貴族の葬儀と墓は，次第に変化していった。8 世紀から 9 世紀前半には，ⓒ令の規定に基づいた葬儀が営まれていたが，9 世紀半ばには，葬儀を簡略化する風潮が高まった。

葬送儀礼への僧侶の関与も進み，皇族や貴族の間では亡くなる前に出家する「臨終出家」のような作法が執り行われるようになった。9 世紀後半になると，天皇陵のそばに寺院が建立されるようになり，11 世紀頃からは，貴族の墓と寺院も近接して建てられるようになる。例えば，ⓓ藤原道長は，子孫が極楽に導かれることなどを祈願し，一族の墓地近くに浄妙寺（じょうみょうじ）という寺院を建てている。

問 3 下線部ⓒに関連して，次の**史料群 1 ・ 2** に関する後の文 **a** ～ **c** について述べた文として正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 9

史料群 1

・〔日本の令の条文〕凡(およ)そ三位以上，及び別祖・氏宗(注 1)は，ならびに墓を営むことを得(う)。以外はすべからず。

・〔上記の条文に関する注釈書〕「以外はすべからず」とは，謂(いうこころ)は(注 2)，諸王・諸臣の四位以下は，みな墓を営むことを得ず。今行事(注 3)，濫(みだ)りに作るのみ。

(注 1) 別祖・氏宗：分立した氏の祖とされる人物と，氏族の長。
(注 2) 謂は：意味するところは。
(注 3) 今行事：現在の実態としては。ここでは，8 世紀前半のこと。

史料群 2

・〔日本の令の条文〕凡そ親王及び三位以上，薨(こう)じなば(注 4)，氷給え。

・〔唐の令の条文〕諸(およ)そ職事官三品以上，散官二品以上(注 5)，薨じなば，氷給え。

(注 4) 薨じなば：(親王や高官が)亡くなったならば。
(注 5) 職事官三品以上，散官二品以上：唐の高官。

a 三位以上であっても，氏族の長でなければ墓の築造は許されなかった。

b 日本古代の社会では，令の規定が遵守されない場合もあった。

c 日本の令の条文が唐のものと似ているのは，唐を模範としたからである。

① 全て正しい。
② 全て誤っている。
③ **a** のみ正しい。
④ **b** と **c** のみ正しい。

日本史B

問 4 下線部ⓓの人物に関する次の**史料**について述べた後の文**X**・**Y**の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 10

史料

土御門殿(注1)の寝殿，一間を以て諸の受領に配し，営ましむと云々。いまだ聞かざるの事なり。造作の過差(注2)，往跡に万倍す(注3)。また伊与守頼光(注4)，家中の雑具，皆悉く献ず。(中略)希有の希有の事なり。(中略)当時の大閤(注5)の徳，帝王のごとし。

(『小右記』)

(注1) 土御門殿：藤原道長の邸宅。
(注2) 過差：分を過ぎていること。ぜいたく。
(注3) 往跡に万倍す：以前の事例より甚だしいこと。
(注4) 伊与守頼光：源頼光(948～1021)。
(注5) 当時の大閤：大閤は太閤と同じ。ここでは藤原道長を指す。

X 受領たちは，任国での業務の中で富を蓄えており，藤原道長の求めに応じて，その邸宅の造営を負担した。

Y 藤原道長は太政官の組織を無視して政治を行っていたため，「帝王のごとし」と評された。

① **X** 正 **Y** 正　② **X** 正 **Y** 誤
③ **X** 誤 **Y** 正　④ **X** 誤 **Y** 誤

問 5　二人の発表を受けて，クラス全体で日本古代の墓と葬儀の歴史についてまとめた。その内容として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

① ヤマト政権の支配領域の拡大にともない，九州から北海道までの各地で方形周溝墓が造られるようになった。

② 百済の復興を目的とした唐・新羅との戦争に敗れた後，倭国で初めて墓の規模が規制された。

③ 火葬は仏教と結びついて広まり，仏教に傾倒した聖武天皇は，天皇であった人物として初めて火葬された。

④ 貴族層の墓・葬儀の変化には，極楽往生を主眼とする浄土教の影響もみられる。

日本史B

第3問 次の文章**A**・**B**は，日本史の授業で，中世の日本列島の様子について調べたアカネさんの班とイズミさんの班の活動内容である。この文章を読み，後の問い(**問1**～**5**)に答えよ。(資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところがある。)(配点　16)

A

アカネさんの班では，中世の日本列島における中央権力と諸地域の関係について調べることにした。最初に，ⓐ鎌倉幕府の成立過程と支配地域の拡大する状況について整理した。次に，ⓑ建武の新政や室町幕府による地方支配のあり方についてまとめた。そして，ⓒ室町時代の地方在住の武士の結びつきについて，九州の事例を勉強した。

問1　下線部ⓐに関連して，アカネさんの班が整理した内容に関する次の史料**Ⅰ**～**Ⅲ**について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

Ⅰ　二品(注1)，奥州・羽州両国の省帳・田文(注2)已下の文書を求めしめ給う。しかるに平泉館炎上の時，焼失すと云々。

Ⅱ　諸国平均に守護地頭を補任し，権門勢家の荘公(注3)を論ぜず，兵粮米〈反別五升〉を充て課すべきの由，今夜北条殿，藤中納言経房卿に謁し申すと云々。

Ⅲ　東海・東山諸国の年貢，神社仏寺ならびに王臣家領の荘園，元のごとく領家に随うべきの由，宣旨を下さる。頼朝申し行う(注4)に依るなり。

(注1)　二品：ここでは源頼朝のこと。
(注2)　省帳・田文：土地台帳のこと。
(注3)　荘公：荘園・公領のこと。
(注4)　申し行う：申請すること。

①　**Ⅰ**―**Ⅱ**―**Ⅲ**　　②　**Ⅰ**―**Ⅲ**―**Ⅱ**　　③　**Ⅱ**―**Ⅰ**―**Ⅲ**
④　**Ⅱ**―**Ⅲ**―**Ⅰ**　　⑤　**Ⅲ**―**Ⅰ**―**Ⅱ**　　⑥　**Ⅲ**―**Ⅱ**―**Ⅰ**

問 2　下線部ⓑに関して，アカネさんの班がまとめた内容について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 13

① 建武の新政では，陸奥・出羽両国を統治するために陸奥将軍府を置いた。

② 室町幕府から東国の支配を任された鎌倉府は，大きな権限を持っており，その管領には細川氏と上杉氏が交代で任命された。

③ 室町幕府は，九州には九州探題を置き，出羽国には羽州探題を置いて，幕府の地方機関とした。

④ 室町幕府は，国ごとに置かれた守護の権限を拡大したため，守護の中には国衙の機能も吸収して一国の支配権を確立するものも現れた。

問 3　下線部Ⓒに関連して，アカネさんの班では肥前国の宇久(うく)島やその周辺の武士(国人)たち 26 名が結んだ一揆の契約状(**史料 1**)を見つけた。次の**史料 1** に関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 14

史料 1

宇久浦中御契諾条々の事

一　宇久浦中の御一族内の人々において，万一思いのほかの出来事が起こった場合は，一同に相談し，正しい判断をする。

一　宇久浦中の御一家の人々は，各々が支配する所領の境の山野河海において狩りや漁，同じく木・松・竹切りなどをすることは許されるが，境を越えてはならない。

一　百姓や下人が領主や主人のもとから逃げ去った場合については，相互に取り決めたように，事情を調べた上で，もとの領主や主人のもとに返さなければならない。

浦中の面々，我々の子々孫々は，堅くこの旨を守ることとする。

(「青方文書」)

a　宇久島やその周辺の武士たち 26 名は，一族や一家という形を取りながら，宇久浦中として地縁的に結びついた。

b　浦中で争いが起こった場合には，一家の長の裁定に従うことが定められた。

c　浦中では，所領の境での狩りや漁などに関して，取り決めをした。

d　浦中では，百姓や下人が領主や主人のもとから逃げた場合，元の領主や主人が百姓や下人を取り戻すためには，守護の許可が必要であった。

①　**a・c**　　②　**a・d**　　③　**b・c**　　④　**b・d**

B

イズミさんの班では，中世において，蝦夷島（えぞがしま）・琉球とその周辺は，独自の歴史を歩んだことに気づき，ⓓ中世の蝦夷島とその周辺での交易とアイヌの歴史について調べた。また，ⓔ15 世紀から 16 世紀にかけて，東アジア・東南アジア諸国を結ぶ中継貿易で繁栄した琉球について調べた。

問 4　下線部ⓓに関して述べた次の文章**X**・**Y**と，それに最も関係の深い語句**a**～**d**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 15

X　応永 30(1423)年，安藤(安東)陸奥守が将軍へ馬 20 匹，鳥 5000 羽，鷲眼（がんぎん）(銭) 2 万疋（ひき），海虎皮(ラッコ皮と考えられている)30 枚，昆布 500 把を進上した。

Y　長禄元(1457)年，アイヌが蜂起し，志苔館の小林太郎左衛門尉良景と箱館の河野加賀守政通を攻撃した。その後，所々の城館を攻め落とした。

a　十三湊　　**b**　坊　津　　**c**　シャクシャイン　　**d**　コシャマイン

①　**X** ― **a**　**Y** ― **c**　　②　**X** ― **a**　**Y** ― **d**
③　**X** ― **b**　**Y** ― **c**　　④　**X** ― **b**　**Y** ― **d**

問 5　下線部ⓔに関連して，イズミさんの班は琉球の中継貿易に関する次の**史料 2** と**表**を見つけた。**史料 2** と**表**から読み取れることを述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

16

史料 2　1534 年に琉球を訪れた明の使者の見聞録

(琉球が)好むのは，ただ鉄器と綿布だけである。その地に鉄が産出せず，土地に木綿を植えないからであろう。したがって，庶民の炊事には，多くは法螺貝(ほらがい)の殻を用いる。機織り女は，もっぱら麻や芭蕉(ばしょう)(注 1)の布を織る。

(陳侃『使琉球録』)

(注 1)　芭蕉：バショウ科の多年草。芭蕉の布は，芭蕉の繊維で織った布。

表　15～16 世紀の琉球と日本から明への朝貢品

琉球	硫黄・蘇木(そぼく)(注 2)・螺殻(らかく)(注 3)・刀剣など
日本	鎧(よろい)・刀剣・槍(やり)・硫黄・蘇木など

(『沖縄県史　各論編』により作成)

(注 2)　蘇木：東南アジア原産の落葉樹。
(注 3)　螺殻：ヤコウガイの貝殻。

X　琉球では，綿布のほか，麻や芭蕉の布が織られており，それらは明への朝貢品となっていた。

Y　琉球から明への朝貢品の刀剣は，日本から入手したものと考えられる。

① **X** 正　**Y** 正　　② **X** 正　**Y** 誤
③ **X** 誤　**Y** 正　　④ **X** 誤　**Y** 誤

日本史B

第 4 問　江戸時代の自然と人との関係について述べた次の文章を読み，後の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。（資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところがある。）（配点　16）

江戸時代は，現代に比べると手つかずの自然が多く残されていたが，それ以前から見れば「大開発時代」と呼ばれるほど，ⓐ自然の改変が進んだ時代であった。ⓑ産物や資源の調査も進み，それらを積極的に利用する議論も盛んになった。

人の手による自然の改変が特に目立ったのは山野においてであった。幕府・諸藩による建築用の樹木伐採のほか，ⓒ百姓たちによる生産や生活のための山野利用という二つの動きにより，全国の山野はその姿を大きく変えていった。その結果，17 世紀後半には樹木が減少した山から大量の土砂が川に流出することが列島各地で問題になった。ⓓ河川流域を水害から守ることが，幕府や諸藩にとって重要な課題になっていく。

このように 17 世紀は「乱伐の時代」であったが，18 世紀以降，山野利用のあり方が見直され，ⓔ資源保全のあり方を意識的に考え始める時代に入った。

問 1　下線部ⓐに関連して，江戸時代における開発について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

① 17 世紀には，各地で城下町の建設や街道の整備が行われた。

② 17 世紀には，新田開発により耕地面積が拡大した。

③ 18 世紀には，銅山が衰退し，それに代わって新たな金銀山の開発が盛んになった。

④ 18 世紀には，幕府による初めての蝦夷地調査が実施され，蝦夷地開発の可能性が探られた。

問 2　下線部ⓑに関連して，江戸時代における産物の調査や利用に関して述べた次の文**X**・**Y**と，それに該当する語句 **a** ～ **d** との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 18

X　この人物により，植物や鉱物の薬用効果を体系的に記した書物がまとめられ，本草学が発展した。

Y　この人物は，殖産興業や専売制による藩の財政再建策を論じた。

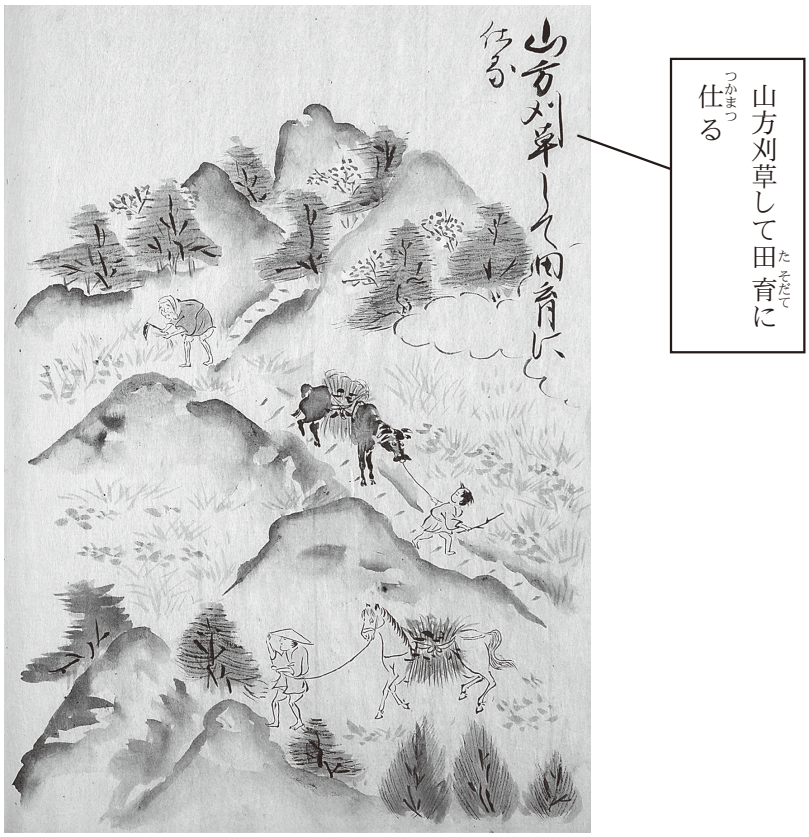
a　渋川春海　　**b**　貝原益軒　　**c**　富永仲基　　**d**　海保青陵

① **X** — **a**　**Y** — **c**　　② **X** — **a**　**Y** — **d**
③ **X** — **b**　**Y** — **c**　　④ **X** — **b**　**Y** — **d**

問 3　下線部Ⓒに関連して，次の**図**は，18 世紀初めの農書『耕稼春秋』に描かれたものである。この**図**に関して述べた後の文中の空欄 ア イ に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

19

図



この**図**は，［ ア ］様子を描いている。このような，百姓や村々が共同で利用していた所を［ イ ］という。

① **ア** 山野から，田の肥料として用いる草を刈り取る　**イ** 助　郷
② **ア** 山野から，田の肥料として用いる草を刈り取る　**イ** 入会地
③ **ア** 山野の草を刈り取って，そこに田を開く　**イ** 助　郷
④ **ア** 山野の草を刈り取って，そこに田を開く　**イ** 入会地

問 4 下線部ⓓに関連して，幕府は1720年，次の**史料1**のような法令を出して，国役の制度を整備し，治水工事などに対応しようとした。**史料1**を踏まえ，この時整備された国役制度に関して述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 20 ］

史料1

諸国の堤防などの工事については，一国全体を支配しているか二十万石以上の所領を持つ大名は，これまで通り自力で行うこととする。それより小規模な領主で，自力で工事ができず，放置しては人が住めなくなるほどの大規模な案件の場合は，今後は国役で割り合って完成させ，幕府からも費用を差し加えるので，申告しなさい。ただし，二十万石以上の所領を持つ大名であっても，本国から離れた小規模な所領については，二十万石未満と同じ扱いとする。

（『御触書寛保集成』）

X　一国全体に及ぶ大名領については，国役による工事の対象にはならなかった。

Y　国役による工事が行われた場合，百姓は他の領主の所領における堤防工事にも費用か労働力を出すことがあった。

① **X** 正　**Y** 正　　② **X** 正　**Y** 誤
③ **X** 誤　**Y** 正　　④ **X** 誤　**Y** 誤

問 5　下線部ⓔに関して，次の**史料 2** は，1805 年に秋田藩が，森林管理・経営の実務を担う役人に指示したものである。この**史料 2** に関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

21

史料 2

山林伐り尽しに相成り候ては，田畑の荒廃，村居(注 1)の衰えのみならず，急水の変，干ばつの憂い，川形の変地等に至り候ては，全く山林伐り尽しより相生じ，ならびに材木薪炭価の高低，御国中一統に相係り，一つとして軽からざる事に候，(中略)百姓共へ篤と申し含め，諸樹植え継ぎ山沢繁茂致し候様に精を入れ相務めらるべく候，(中略)種実苗木取り立て等，御入方(注 2)は指し出さるべく候間，追々取り調べ申し聞けらるべく候(注 3)。

(「六郡木山方以来覚」)

(注 1)　村居：村々の家屋やそこに住む人々。
(注 2)　入方：費用。
(注 3)　申し聞けらるべく候：申告しなさい。

a　山林伐採によって耕地の荒廃や災害が引き起こされたため，物価の引き下げを命じていると考えられる。

b　山林伐採が建築資材・燃料価格の変動をもたらし，藩領全体に影響すると認識していたと考えられる。

c　藩が経費を支出する意思を示して，植林や樹木の育成を奨励していると考えられる。

d　荒廃や飢饉が起きないよう，百姓を説得して天然林の保護を奨励していると考えられる。

①　**a・c**　　②　**a・d**　　③　**b・c**　　④　**b・d**

日本史B

第5問 次の文章は，自分たちが住む東京に着目して，時代の変化を調べることにした高校生のマサさんとミユさんの会話である。この文章を読み，後の問い(**問1**～**4**)に答えよ。(資料は，一部省略したり，書き改めたりしたところがある。)(配点　12)

マ　サ：江戸が東京に変わったのは，明治維新の時だったよね。
ミ　ユ：今，手元の年表を見ると，ⓐ1853年にペリーが来航してから，江戸やそれ以外の場所でも様々な出来事が起きているね。
マ　サ：江戸幕府の崩壊が，東京に変わるきっかけだから，そこから考えよう。
ミ　ユ：ⓑ将軍徳川慶喜が，政権を朝廷に返すことを表明した場所は京都だね。
マ　サ：幕末は，京都に政治の中心が移っていたようだ。でも，戊辰戦争が始まると，江戸も上野一帯で戦争が起きたりして，動乱に巻き込まれていくよ。
ミ　ユ：その後，江戸は東京になる。旧幕府勢力の抵抗が終わると，新政府の支配は安定し，ⓒ諸外国との間でも新たな関係が整えられていくんだね。
マ　サ：ところで，人々はどうやって時代の変化を感じ取ったのかな。
ミ　ユ：長い間京都にいた天皇が，東京に入ったのは大きな出来事だったろうね。年表だとⓓ天皇は1868年の10月に初めて東京に行幸している。その年に京都に戻って，翌年，再び東京に入り，東京は首都として定着していくよ。

問1　下線部ⓐに関連して，ペリー来航以後の出来事に関して述べた次の文**Ⅰ**～**Ⅲ**について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **22**

Ⅰ　公武合体を推し進めようとする薩摩藩の要求を受けて幕政改革が始まり，参勤交代制の緩和が行われた。
Ⅱ　長州藩が勢力挽回のため京都に出兵し，会津・薩摩などの藩兵に敗れた。
Ⅲ　幕府は，欧米諸国との貿易開始の翌年，江戸の物資不足に対応するため，生糸などの五品については，江戸の問屋を通して輸出するように命じた。

① **Ⅰ**―**Ⅱ**―**Ⅲ**　② **Ⅰ**―**Ⅲ**―**Ⅱ**　③ **Ⅱ**―**Ⅰ**―**Ⅲ**
④ **Ⅱ**―**Ⅲ**―**Ⅰ**　⑤ **Ⅲ**―**Ⅰ**―**Ⅱ**　⑥ **Ⅲ**―**Ⅱ**―**Ⅰ**

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**史料 1** の内容と，それに関する政治の動きについて述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 23

史料 1

臣(注 1)其職を奉ずと雖も，政刑(注 2)当を失うこと少なからず，今日の形勢に至り候も，畢竟(注 3)薄徳の致すところ，慙懼(注 4)に堪えず候，況や当今外国の交際，日に盛んなるにより，愈朝権一途に出申さず候ては綱紀(注 5)立ち難く候間，従来の旧習を改め，政権を朝廷に帰し奉り，広く天下の公議を尽くし，聖断(注 6)を仰ぎ，同心協力共に皇国を保護仕り候得ば，必ず海外万国と並び立つべく候。

（『幕末御触書集成』）

(注 1)　臣：ここでは 15 代将軍徳川慶喜。
(注 2)　政刑：政治と刑罰。
(注 3)　畢竟：つまるところ。結局。
(注 4)　慙懼：恥じて，おそれること。
(注 5)　綱紀：国家をおさめる上での規律。
(注 6)　聖断：天皇の裁断。

X　**史料 1** によれば，徳川慶喜は，外国との交際が盛んになるなかで，朝廷のもとに政権を統一する必要性を述べている。

Y　大政奉還の後，鳥羽・伏見の戦いに勝利した薩長両藩は，その後，王政復古の大号令を発して新政府の発足を宣言した。

① **X** 正　**Y** 正　　② **X** 正　**Y** 誤
③ **X** 誤　**Y** 正　　④ **X** 誤　**Y** 誤

日本史B

問 3 下線部ⓒに関して述べた次の文**X**・**Y**と，それに該当する語句**a** ～ **d**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 24

X 外務大臣として条約改正に取り組んだが，外国人判事を大審院に任用することを認めていたため強い反対論を招き，一青年により負傷させられた。

Y 明治政府が初めて対等な内容で結んだ条約であり，相互に開港したうえ領事裁判権を承認し合うなどの内容を持つ。

a 大隈重信　　**b** 榎本武揚

c 日清修好条規　　**d** 日英通商航海条約

① **X** ― **a**　**Y** ― **c**　　② **X** ― **a**　**Y** ― **d**

③ **X** ― **b**　**Y** ― **c**　　④ **X** ― **b**　**Y** ― **d**

問 4 マサさんとミユさんは，下線部ⓓに関する次の**史料 2** と，後の**図**のような錦絵を見つけた。これらに関して述べた後の文**a** ～ **d**について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 25

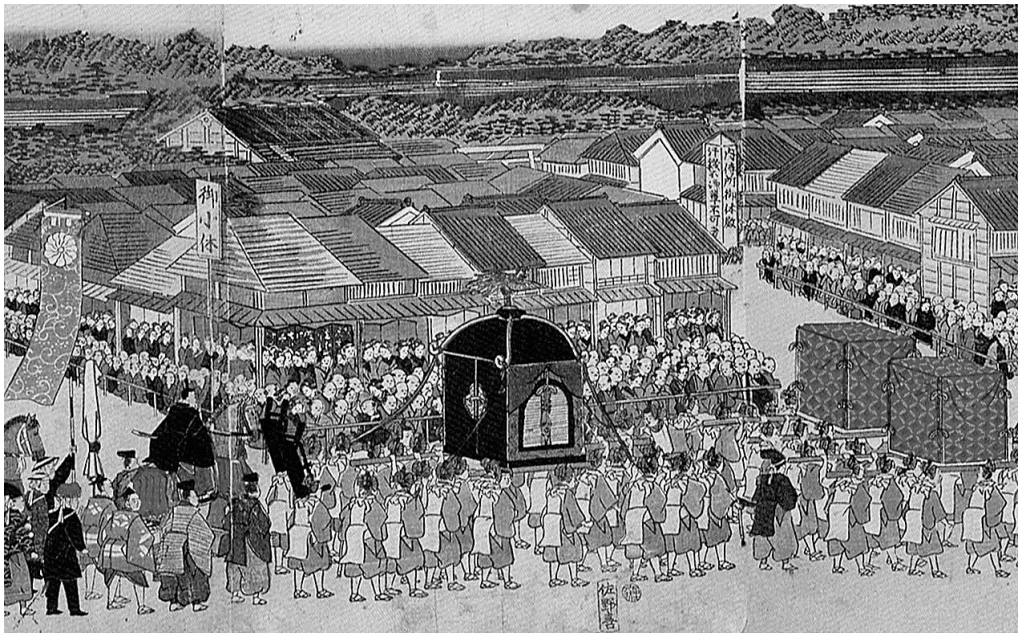
史料 2

十月十三日，快晴。今日，御鳳輦(注1)東京に着き賜う。今朝品川駅を発し給い(中略)未刻頃西城(注2)へ着き給う。貴賤老稚道路に輻輳(注3)して拝し奉る。更に寸地を漏らさず，錐を立つべき所もなかりし。御行列の次第は梓に上せて行わるる(注4)ものあれば，ここに誌さず。

（斎藤月岑『増訂　武江年表』）

(注1)　鳳輦：天皇の乗物。
(注2)　西城：江戸城西の丸。
(注3)　輻輳：寄り集まって込み合うこと。
(注4)　梓に上せて行わるる：出版される。

図　天皇の行列を描いた 1868 年 11 月制作の錦絵（**図**の中央に見えるのは鳳輦）



（『東京名勝　芝神明宮之図』）

a　明治天皇が初めての東京行幸で江戸城西の丸に入った後も，東京以外の地域では，新政府に対する旧幕府勢力の抗戦は続いた。

b　開国後，外国文化の影響を受けて，浮世絵の中から多色刷りの技法を導入した錦絵が誕生した。

c　**史料 2** によれば，東京の人々は身分や年齢によって整然と区分けされ，天皇の行列を見物したことが分かる。

d　**図**のような天皇の行列を描いた錦絵が行幸の翌月には作成されており，錦絵が時事問題を伝えるメディアとして役割を果たしていたことがうかがわれる。

① **a・c**　② **a・d**　③ **b・c**　④ **b・d**

日本史B

第 6 問　次の文章**A**・**B**は，授業の課題で銅像の歴史について調べている高校生のユウさんとリョウさんの会話である。この文章を読み，後の問い(**問 1** ～ **7**)に答えよ。(史料は，一部省略したり，書き改めたりしたところがある。)(配点　22)

A

ユ　ウ：ⓐ近代の銅像で有名なのは，1897 年に制作された東京の上野公園にある西郷隆盛像だね。西南戦争で官位をはく奪されていた西郷が，1889 年の［ア］を機に改めて正三位を贈られたことで，銅像の建設運動が行われたんだ。この銅像は，高村光雲が中心になって制作されたんだよ。

リョウ：えっ，高村光雲って伝統的な木彫で有名な人だよね。その人が銅像を作るなんてちょっと信じられないな。

ユ　ウ：光雲の息子である光太郎は，ロダンに師事して彫刻を学んだ［イ］と親しかったけれど，光雲も西洋の技法にも関心を持っていたんだよ。

リョウ：ふーん。西郷以外にどんな人が銅像になったの？

ユ　ウ：例えば，伊藤博文の銅像は，1904 年に神戸に建てられているよ。政治家だけでなく，江戸時代に大名だった人たちも銅像になっているよ。例えば，ⓑ井伊直弼の銅像は，有志が何度も明治政府に建設を願い出て，ようやく 1909 年に建てられることになったんだ。

リョウ：これだけ有名な人たちが銅像になるのだったら，天皇も銅像になったの？

ユ　ウ：いい質問だね。ⓒ明治天皇が死去した時に銅像建設の動きがあったけれど，賛否両論があって，結局，明治神宮が建設されることになったんだ。

問 1　空欄［ア］［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［26］

① ア　国会開設の勅諭の発出　　イ　荻原守衛
② ア　国会開設の勅諭の発出　　イ　島村抱月
③ ア　大日本帝国憲法の発布　　イ　荻原守衛
④ ア　大日本帝国憲法の発布　　イ　島村抱月

問 2　下線部ⓐに関連して，次の文Ⅰ～Ⅲは，明治・大正期の出来事について報道した新聞記事の一部である。報道が発表された時期を古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［27］

Ⅰ　昨今の米価暴騰にて困窮愈々(いよいよ)その極(きわみ)に達し居(お)れるが，三日午後七時漁師町一帯の女房連二百名は(中略)米屋及び米所有者を襲い，所有米は他に売らざること(中略)を嘆願し(後略)

Ⅱ　十年前の二月十日は，明治天皇陛下が強露(きょうろ)討伐の詔勅を下し給える日なり(中略)沸騰せる国民は今や此(この)日を以(もつ)て，山本内閣に対する宣戦の烽火(のろし)を挙げて(中略)議院に迫らんとす。

Ⅲ　新帝御践祚(せんそ)(注)の初(はじめ)に当(あた)り，此(かく)の如(ごと)き不祥なる政変を見るに至りし(中略)桂公の内閣を組織せんとするに当り，吾人は極力閥族政治の打破を期せんとす。

(注)　践祚：皇太子が天皇の位につくこと。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ　　② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ　　③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ　　⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ　　⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史B

問 3 下線部ⓑに関連して，次の**史料 1** は，井伊直弼の銅像建設の沿革を記したものである。**史料 1** から抜き出した後の語句**X**・**Y**と，それに関して述べた後の文**a**～**d**との組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 28

史料 1 井伊直弼像建設の沿革

一 明治十七年一月，(中略)直弼公記念碑設計に着手し，(中略)大(おおい)に事業の進捗を見んとするに際し，突然意外の障害に遭遇し，建碑(けんぴ)は一時中止し(中略)

一 明治三十二年三月，東京市の有志者相図り，(中略)日比谷公園は直弼公の遭難地に近接し，格好の位置なるを以(もつ)て(中略)建設の事に同意し(後略)

(『新修彦根市史』)

X 意外の障害

Y 直弼公の遭難地

a 井伊直弼も加わっていた一橋派に対し，かつて反対していた者たちの反発のことだと考えられる。

b 井伊直弼による弾圧で処罰者が出た長州藩出身者などの反発のことだと考えられる。

c 井伊直弼はこの場所で会津藩浪士に傷つけられたことにより，失脚した。

d 井伊直弼がこの場所で遭難した後，幕府は公武合体政策を進め，和宮を徳川家茂の妻に迎えた。

① **X** — **a** **Y** — **c**　② **X** — **a** **Y** — **d**

③ **X** — **b** **Y** — **c**　④ **X** — **b** **Y** — **d**

問 4 下線部Ⓒに関連して，次の**史料 2** は明治天皇が死去した年の新聞に掲載された，明治天皇の銅像建設に関する板垣退助の意見である。この意見の内容と，この意見が掲載された時期の板垣退助に関して述べた後の文 **a** ～ **d** について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 29

史料 2

陛下の御銅像を製し奉り，以て民衆をして陛下に接するの思いあらしむるの必要ありと信ず。既に又神宮を建立して，其(その)御徳を慕い奉らんとするの希望説もあるべけれど，神宮のみにては如何(いか)にも物足らぬ心地せらるれば，必ず銅像を建立し御英姿を拝し得るようしたきもの也(なり)。

（『東京朝日新聞』）

a **史料 2** で板垣退助は，天皇をまのあたりにしているような思いを抱かせる銅像を建設することこそが，人々の間で天皇を慕う気持ちを高めるために必要な方法だと述べている。

b **史料 2** で板垣退助は，神宮を建設すれば人々の間で天皇を慕う気持ちは十分に高まるので，銅像を建設する必要はないと述べている。

c この時期，板垣退助が党首を務めた自由党はすでに解党されていた。

d この時期，板垣退助は，元首相として元老に任じられ，首相の選任に関与していた。

① **a・c**　② **a・d**　③ **b・c**　④ **b・d**

日本史B

B

ユ　ウ：ⓓ戦時期になると，多くの銅像が金属供出で倒されることになるんだよね。

リョウ：うん，1923 年に建てられたある軍人の銅像も，戦時期に，台座のみを残して供出されたよ。ⓔ戦後になると，この台座には，広告会社によって裸婦の群像が据えられたよ。

ユ　ウ：戦後にはテレビドラマやアニメの登場人物の銅像までも作られるようになったね。例えば，1983 年には，手塚治虫の描いた鉄腕アトムの銅像が埼玉県に建てられている。「鉄腕アトム」は，ⓕ科学技術の進歩に対する期待が高まっていた 1950 年代に雑誌連載が始まった漫画だよ。

リョウ：どんな銅像が建てられるのか，時代によって変わっていくんだね。

問 5　下線部ⓓに関して，日中戦争の勃発から敗戦までの政治・社会について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

① 戦争が長引くにつれて，米不足が深刻化し，主食がさつまいもなどで代用されるようになった。

② 独占禁止法が制定され，物資の買い占め・売り惜しみが禁じられた。

③ イギリスによる段祺瑞政権への物資援助に反発して，人々の間で反英の機運が高まった。

④ 米内光政内閣によって「東亜新秩序」の建設が声明されて以降，人々の間で東南アジアへの関心が強まっていった。

問 6　下線部ⓔに関して，次の**史料 3** はこの裸婦の群像について報じた新聞記事である。この**史料 3** に関して述べた後の文**X**・**Y**について，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 31

史料 3

『裸婦像』が街頭に建てられる，パリの話ではない東京，それも国会議事堂前の寺内元帥銅像跡，まさに軍国日本から文化日本への脱皮を象徴する女神の像である。(中略)平和日本のシンボルとして続々アイディアを練った末『愛情』『理知』『意欲』の三女性による裸婦群像を制作することに決定，三ヵ月間にわたって苦心の結果，二十三日漸(ようや)く原型を完成した。

(『毎日新聞』1950 年 6 月 24 日)

X　**史料 3** の裸婦像が置かれる前に台座に設置されていた銅像のモデルとなった人物を首班とする内閣は，中国に対し，二十一か条の要求を行った。

Y　**史料 3** は，この裸婦像を軍国主義からの脱却のシンボルとみなしている。

① **X** 正　**Y** 正　　② **X** 正　**Y** 誤

③ **X** 誤　**Y** 正　　④ **X** 誤　**Y** 誤

問 7　下線部ⓕに関して，敗戦から 1970 年代までの科学技術について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

① 湯川秀樹が，日本人ではじめてノーベル物理学賞を受賞した。

② 1950 年代には，生活のなかでの電化が進み，三種の神器と称された自動車やカラーテレビ，クーラーが家庭に普及した。

③ 高度経済成長期には，技術革新を背景として，大規模な石油化学コンビナートが相次いで建設された。

④ 大阪で開催された日本万国博覧会では，新しい技術が紹介された。